

18. 「日本における『テンペスト』」、『武蔵野短期大学研究紀要』第 11 輯、武蔵野短期大学、平成 9 年 6 月、ISSN:0288-8025

153-161 頁

日本における『リチャード三世』受容史を、特に研究史と上演史を中心に論じた。歴史劇でありながら、リチャード三世の捉え方は特に難しいものがある。「歴史劇とは何か」、「悲劇とは何か」という根本的な、問題も論じ、上演との関係から『リチャード三世』の魅力について論じた。特に上演において人気のあるこの作品は、主人公の人間的魅力からその配役にも大きな影響があった。巻末に本邦初の本格的な上演年表を完備した。(B 5)